



試合におけるフェアプレイの推進（1）

その基本

フェアプレイはスポーツの基本です。

1. ルールを守る
2. 対戦相手を尊重する
3. 全力を尽くし正々堂々と戦う

体調、天候、人間関係など、その時々で変わるコンディション、試合の流れ、勝敗の行方といったストレスに耐えながら、日々戦い、努力し続けることは並大抵ではありません。

しかし、プロフェッショナル選手として、常に対戦相手を尊重し、試合を支える審判らに感謝しながら、正々堂々と全力を尽くして競技する態度・精神は、後進の選手たちやテニスファンにとって、大きな感動と活力の源となるでしょう。



試合におけるフェアプレイの推進（２） あくしゅ、あいさつ、フェアプレイ

フェアプレイをより一層推進するため、日本テニス協会は、試合後だけでなく試合前にも、握手、挨拶をする運動を行っています。

あくしゅ、あいさつ、フェアプレイ啓蒙動画



<https://youtu.be/5Usl3kiT3lw>

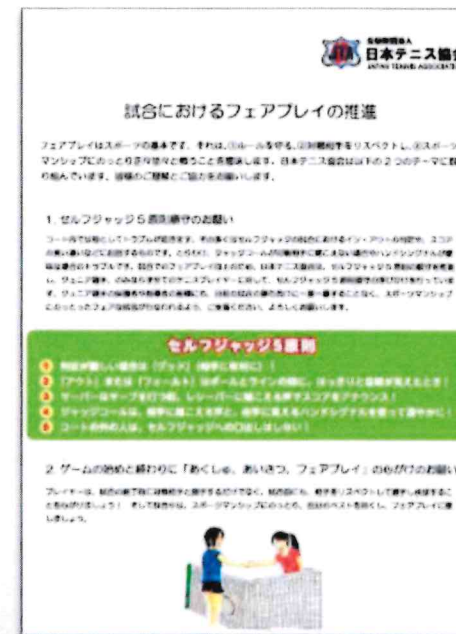


試合におけるフェアプレイの推進 (3)

セルフジャッジ5原則の推進

残念ながら、多くのテニス大会で採用されているセルフジャッジに関するトラブルが後を絶ちません。プレーヤーだけでなく、保護者、指導者、そして大会主催者にも、正しいセルフジャッジの理解がまだまだ不足している状況です。

そこで本協会では「テニス競技でのセルフジャッジ5原則の順守とお願い」というタイトルのチラシを作成し、全国へ配布しています。



全国で配布したチラシ

セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)！
- ② 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！